社会資本総合整備計画 事後評価書 令和04年06月20日

1	X-1-16-GE-MITH FIXTHER							
計画の名	称 大田市における下水道事業の推進							
計画の期	間 平成29年度 ~ 令和02年度 (4年間)	重点配分対	象の該当					
交付対	大田市					-	•	
	際 下水道未普及地域の解消により、快適な生活環境の創出と良好な水環境の保全							
全体事	業費(百万円) 合計(A+B+C+D) 2,862 A	2, 862 B	0 C	0 D	0 効果促進事	業費の割合C / ( A + B + C	+D) 0 %	
		=		!)				
		定量的指標の現況値及び目標値						
番号	定量的指標 <i>d</i>	当初現況値	中間目標値	最終目標値				
		H29当初		HB2年度末				
1	下水道処理人口普及率を20%( H29) から30%( HB2) に増加					<u>'</u>		
					20%	%	30%	
	下水道処理人口普及率=( 下水道処理人口)/( 行政人口)							
					<u>'</u>			
					1			
	備考等	個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む -	定住自立圏を含む -	- 連携中枢都市圏を含む -	流域水循環計画を含む -	地域再生計画を含む -	

1

A 基幹事業																	$\overline{}$
A 至针 学未		事業	地域	交付	直接	$\overline{}$	$\overline{}$	T	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	事業実	施期間	引(年度)	全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業(大)	番号	種別	種別	対象	間接		種別1	種別2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名						
						 される効果			1		L						
		備考															
下水道事業		下水道	一般	大田市	直接	大田市	管渠(	新設	管渠整備事業(大田処理	汚水管Φ150~300mm L = 13	大田市		•   •		1, 929	·	_
	A07-001						汚水)		区)	, 960m						ı	
				1		.1				_I							
							-										
		下水道	一般	大田市	直接	大田市	管渠(	新設	管渠整備事業(温泉津処	汚水管Φ100~150mm L = 1,	大田市				374		T
	A07-002						汚水)		理区)	490m						ı	
																	1
		下水道	一般	大田市	直接	大田市	管渠(	新設	管渠整備事業(仁摩処理	汚水管Φ50~250mm L = 5, 5	大田市				559		_
	A07-003	1					汚水)		区)	50m						i	
		<u> </u>			,												
			$\top$	$\overline{}$	$\overline{}$	T	$\overline{}$	T		T	小計				2, 862		$\top$
											3.81						
<u> </u>		<del> </del>	T	Τ	$\overline{}$	T	$\overline{}$	$\top$		T	合計			Т	2, 862		
															4,002		
			_			<del></del>				Т	T						
			Т	Т						Т	T	т т		T	T 7		_
		ļ								Т	Т						

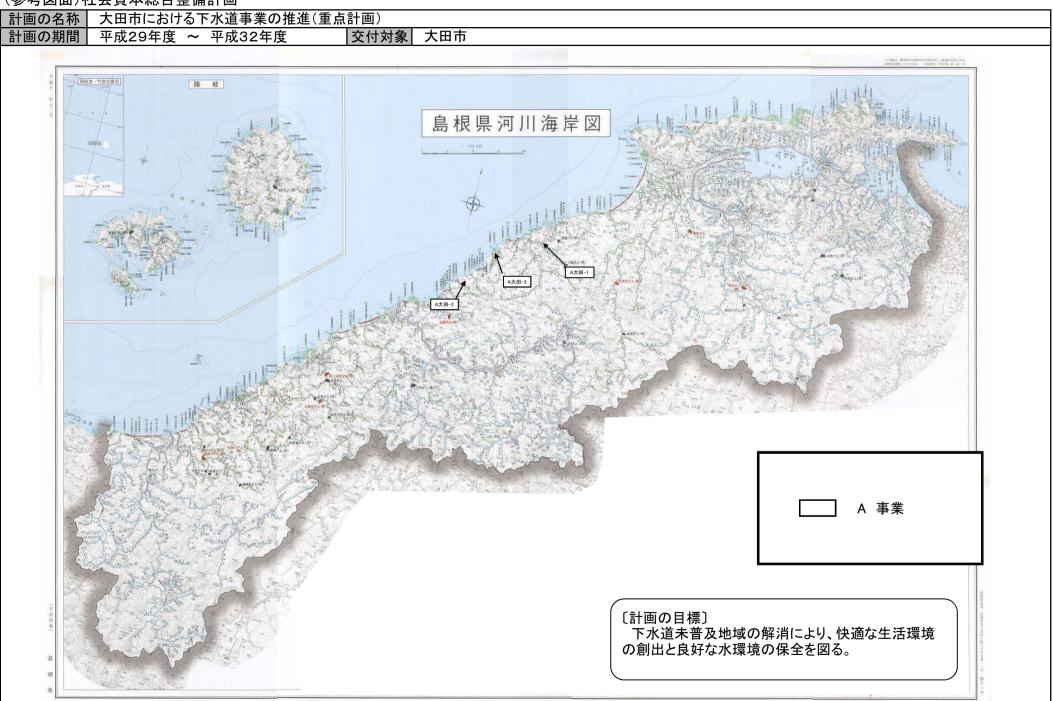
1

案件番号: 0000426788

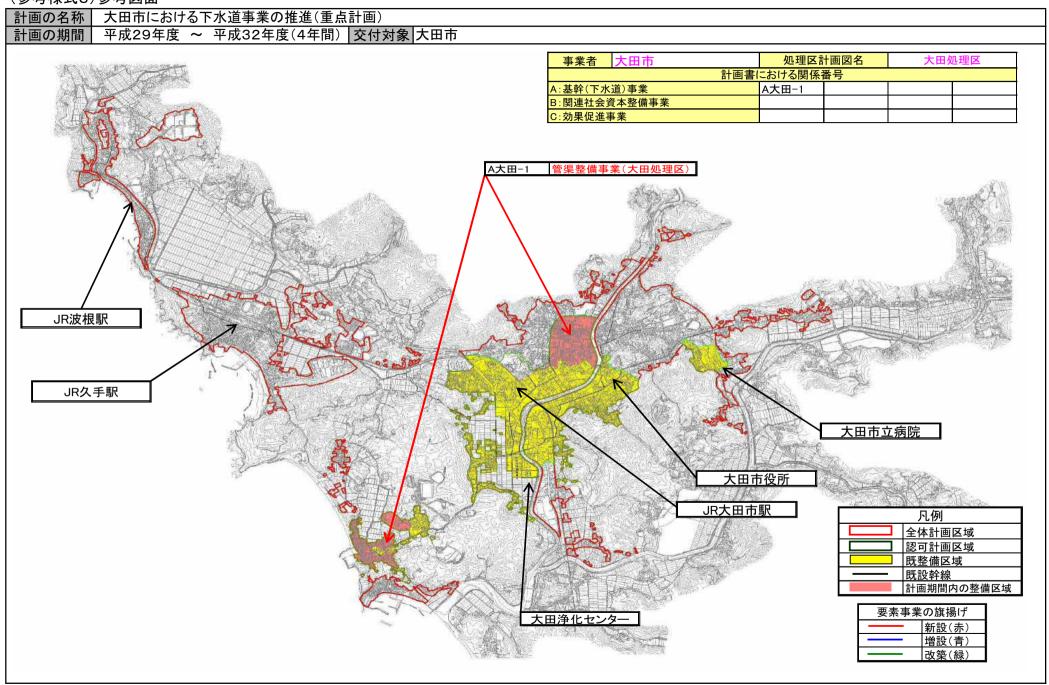
	<i>u</i>	
	事後	
○事後評価の実施体制、実施時期		
事後評価の実施体制		事後評価の実施時期
大田市にて評価を行い確定		事業完了後
		公表の方法
		大田市ホームページで公表
○事業効果の発現状況	T-1/>	( 100) (-144-
	下水道処理人口普及率を22%(H29)から28%	(HS2) に増加。
定量的指標に関連する		
交付対象事業の効果の発現状況		
定量的指標以外の交付対象事業の		
効果の発現状況(必要に応じて記述)		
〇柱司末亞( A然の大利英)		
○特記事項(今後の方針等)	ばの下水道整備を進め、水質保全を図る。	
人田処理区におりる下水道木音及地域	の下小垣登禰を進め、小貝休王を凶る。	

〇目	〇目標値の達成状況								
亚口	指標(略称) 日標値/実績値 日標値と実績値に美が出た更用								
番号	目標値/	実績値	目標値と実績値に差が出た要因						
1	最 終 目標値	30%	工事着手後、当初想定と異なる土質・地下水位等により詳細調査及び工法変更が生じ、進捗が遅れたため。						
	最 終 実績値	28%							

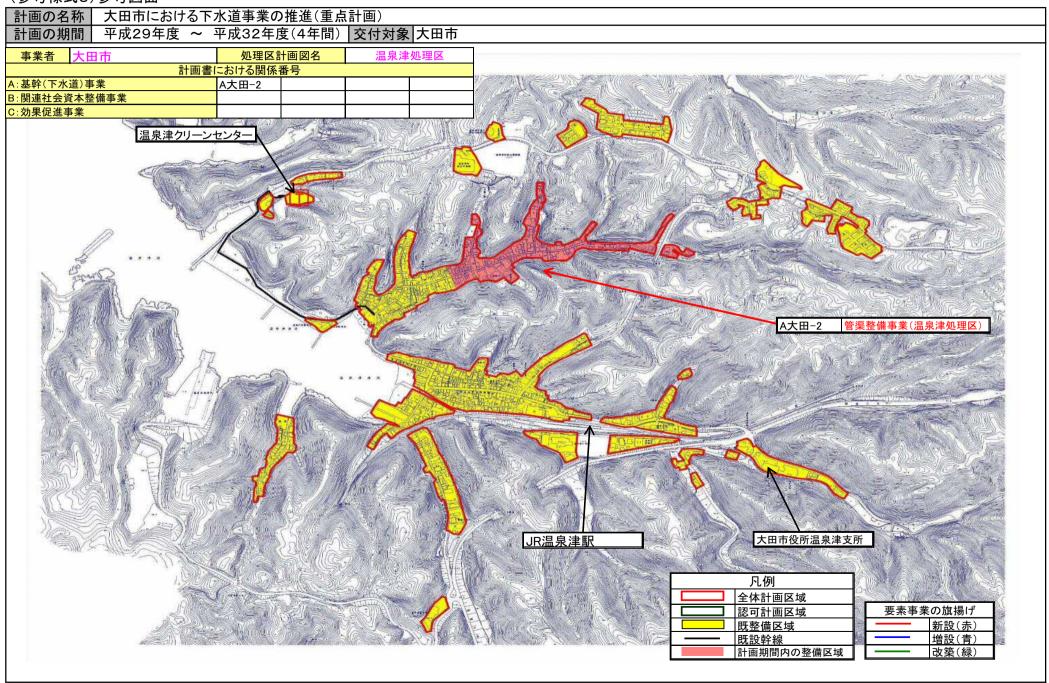
1



## (参考様式3)参考図面



## (参考様式3)参考図面



(参考様式3)参考図面

